

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第416号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2022年3月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

卒業おめでとう!!

TOP*NEWS

高校・中等部第3学年 総長賞・総代・各賞受賞者決まる

剣道部 女子団体 東京都高等学校新人剣道大会 第2位!

全国高等学校剣道選抜大会 出場決定!

男子団体 東京都高等学校新人剣道大会 第3位!

高校

東海大学総長賞
5組 高瀬 愛



卒業生総代
8組 木村 涼雅



東海大学生徒会功労賞
6組 井上 奈菜



優等賞

9組 松永 理彩



3力年皆勤賞(代表)

5組 吉澤 頼郁



中等部

東海大学総長賞
A組 今井 夏海



卒業生総代
B組 松本 紗恵里



東海大学生徒会功労賞
A組 浅生 蓮



優等賞

A組 加藤 将翔



3力年皆勤賞(代表)

A組 菊田 美央



2021年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で以下の25名と2団体の日頃の努力に対して表彰します。

高 校

東海大学奨学生 9組 渡辺 暁登	東海大学特別奨励推薦(代表) 10組 藤井 武	3カ年精勤賞(代表) 3組 金森 太輝	1カ年皆勤賞(代表) 7組 小林 颯太	1カ年精勤賞(代表) 4組 榎本 壮汰
東京都知事賞 4組 芹沢 ななみ	日本私立中学高等学校連合会賞 8組 立花 亮真	東京都私学財団奨励賞 6組 一宮 万里河	東京都私学財団文化・スポーツ活動賞 吹奏楽部 8組 子吉 郁也 (男子/レーボール部)	
東京都高等学校文化活動優良賞 10組 常森 允道 (SSH活動)		東京都高等学校体育連盟柔道賞 1組 新井 恒太		東京都高等学校野球連盟賞 5組 小笹 敦史
東京都高等学校体育連盟弓道専門部功労賞 4組 柴田 祐介		東京都高等学校軽音楽連盟賞 5組 齋藤 圭		東京都高等学校ソフトテニス連盟賞 8組 安保 圭悟
高校生新聞社賞 剣道部				

中 等 部

3カ年精勤賞(代表) B組 石原 怜亜	1カ年皆勤賞(代表) A組 佐藤 広琉	1カ年精勤賞(代表) B組 中原 煌太	日本私立中学高等学校連合会賞 B組 加島 優	東京都体育協会優良生徒 A組 橋本 翼 (陸上競技部)
 A組 山田 結菜 (ソフトテニス部)				

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。 2022年2月18日現在

卒業する皆さんへ

離れるのは距離だけ

原 希々花
高校生徒会会長 2年10組



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
私が先輩方と特に深く関わったのは、生徒会活動に参加したことがきっかけでした。多くの行事が中止になる中、どうか工夫して開催しようとする先輩方の姿を見て、全員がどんな時でも責任感を持ち、前向きにしっかりと自分の仕事をこなし、工夫を重ねる姿はいつまでも私たちの憧れです。

入学当時は長く感じていた3年間は、今となってはあっという間に感じていたのではないのでしょうか。春からは環境が変わります。今、世界は明確な正解のない社会だといわれています。価値観の違いに戸惑い、信念が貫けなくて悩むこともきっとたくさんあると思います。しかし、混沌とした時代を生き抜いているからこそ、今感じている希望や憤りを忘れずに自分の選択に責任を持ち、誰かの誇れる存在になってほしいと思います。最良の時は、これからの未来に必ずあるはず。ぜひ胸を張って歩き出してください。
私たちは先輩方の後輩として、この学び舎で共に生活できたことを心から誇りに思います。今まで本当にありがとうございました。先輩方のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

人との出会いを大切に

今西 俊貴
後援会会長



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
卒業するにあたって、今、皆さんの心の中には、高校生活、中等部生活を振り返り、どのようなことが思い浮かんでいるでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響で、決して平坦な3年間ではなかった

と思いますが、卒業を迎えた今、多くの人の心には、何となく「いい3年間だったな」という思いが浮かんでいるのではないのでしょうか。
皆さんは先輩たちと同じ経験はできなかったかもしれませんが、同じ3年間という時間をクラスや部活動の仲間と共有し、中には自分と考え方が異なる人もいたかもしれませんが、仲間との関わりを通して成長したと思える自分がいるのではないのでしょうか。
人は多くの人と出会い、関わり合いながら、成長します。学生時代には、あまり感じないかもしれませんが、人との出会いは、皆さんの人生に大きな影響を与えます。皆さんは、これから先の人生でたくさんの出会いが待っています。お互いを大切にしたい、学び合い、良い影響を与え合いながら、皆さんが豊かな人生を送っていかれることを心からお祈りしています。

これからはジョブ型雇用の時代!

竹中 輝夫
部活動後援会会長



卒業する皆さん、おめでとうございます。
3年前の入学式で私は皆さんに「付属校のメリットを生かし、放課後の時間を自分の得意分野を探し、伸ばす時間に使ってください」とお願いしました。皆さんは実行できましたか?
自分の得意分野を持ち、スペシャリストになることが、働き方が大きく変わる

これからの社会では重要になります。
今までは職務を限定せず、総合的なスキルを持つ人材を企業は雇用してきました。しかし終身雇用が終焉を迎えたこれからは、専門性の高いスキルを持つ人材、スペシャリストを雇用する企業が増えてきます。企業が必要とするスキルを持つ人材を積極的に採用する人事制度、これがジョブ型雇用です。IT、IOT、AIの時代。モノづくりは中国、ベトナム、インドが中心となり、国内の多くの企業が求めているのは創造力、企画力、提案力を備えた専門スキルを持つ人材です。最近では自ら起業する人(スタートアップ)も増えています。
高校で、自分の得意分野を見極め、大学で得意分野を深掘りし、時代に即したスペシャリストになる。一つの会社に縛られることなく、自分のスキルを生かせる会社があれば転職し、飛躍するためにも「得意分野」を身につけることに、積極的に取り組んでください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

若い力で壁を破ろう

内村 宏幸
高輪会会長



立春も過ぎ、春の訪れがまばゆい季節になってまいりました。このような良い季節に皆様のご卒業されることを、心からお祝い申し上げます。
さて、2年以上も続いている新型コロナウイルス感染症により、勉学・部活動や学校行事等、大変苦労されたこと察しています。しかし、皆様におかれましては学校生活を通し、さまざまな思い出を胸に重ねてきたことと思います。

これから、それぞれの目標へ向かい旅立ちますが、先輩OBとして申し上げておきたいことがあります。一つは、人と人との絆を育むことです。人間は他者との関係性の中で磨かれるものだからです。ですから、人と人との結びつきを大切にしてください。
もう一つは、負けじ魂を持つことです。これから先も幾多の困難が待ち受けているかもしれません。また、このような時代にあって、混沌の闇が深いかもしれません。それらに負けず、勇み立つ心「負けじ魂」を持つことが大切です。
皆さんは若く、希望溢れる未来を象徴しています。これからも元気で明るく、自己の目標をぜひ、達成させてください。
最後に皆様、今まで育ててくださった保護者や先生方の温かい気持ちにこたえて、これから新しい一歩を踏み出していかれることをお慶び申し上げます。決して焦らず、さまざまなことを乗り越えていかれることを願っております。その時に心の糧になるのが、この学校で学んだ3年間の時間の集積だと思えます。それに感謝し、ますますご活躍されていくことを心より願っております。また、保護者の皆様、校長先生をはじめ、ご指導くださった先生方に感謝の意を申し上げます。

2021年度 卒業記念品紹介

高等学校第73回、中等部第13回の卒業記念品として、以下のものを贈呈していただきました。大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。

- トレーニング機器 3台
- ポータブルステージ 5台



ポータブルステージ



トレーニング機器

2021年度学校運営方針

今回が、今年度の本校の教育活動を行っていく上での「実践目標」についてご紹介する最後となります。一年間、「実践目標」に基づいて教育活動を行ってまいりました。本校の教育活動を通して、子どもたちが成長することができたならば、大変うれしく思います。来年度も引き続き、それぞれの目標達成のために頑張る子どもたちの助けになれるよう、教育活動に取り組んでまいります。

2021年度の【実践目標】

- 情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、教職員・生徒の情報教育の推進を図る

本校では、今年度BYODシステムの完成年度にあたり、全校生徒が自分のタブレットPCを持った状態で教育活動を行うことができました。新型コロナウイルス感染症の影響で登校できない生徒に対してもオンライン授業を行い、子どもたちの学びの機会を守ることができました。

授業では、タブレットPCを活用して、自分の考えをまとめ、グループで共有整理して、それを全体発表するなど、自分の考えを発信する場面を多く取り入れています。学校全体の取り組みとして、高校1年生の「高校現代文明論」、2年生、3年生で履修する「探究活動Ⅰ」、「探究活動Ⅱ」の授業で自分でテーマを設定して、情報を集め、調査・考察して、それらをまとめ発表することを通して、情報を活用する力、発信する力の育成に力を入れています。



SSH活動報告

地域の小学生対象科学教室「ファミリー・スーパーサイエンス教室」を実施

1月10日、地域の小学生を対象とした科学教室「ファミリー・スーパーサイエンス教室」を実施しました。2008年度から毎年実施しているこの科学教室は、今年で14回目を迎えました。SSH委員の生徒たちが企画を考え、先生役となってさまざまな体験実験を披露し、子供たちに対して科学の面白さを伝えました。



リニアモーターカーの説明



結晶ツリーを作ろう



液体窒素を体験

1年10組 平林 幹大

この活動を通して2つのことを感じました。1つ目は充実感です。準備や説明などは大変でしたが、子供たちは真剣に実験に取り組み、体験コーナーで楽しく遊んでくれました。この姿を見て、「やってよかった。またやりたい」と思いました。2つ目は、「説明することの難しさ」です。一緒に活動した先輩は、小さい子供たちから大人まで、誰もがわかりやすいと思うような説明をしていました。私もまねをしようとしたのですが、「この言葉はどうしたら小学生に伝わるのか」「この感じはどう言葉にするのか」など、自分は少し説明する能力が弱いと感じました。来年はもう少し説明が上手にできるようになりたいです。

2年10組 カマル イマン

事前準備のときから楽しかったです。当日は子供たちが一度にたくさん来たときは大変でしたし、その都度片付けをしなければならなかったのですが、先輩・後輩と協力してスムーズに作業ができました。相手が小さな子供だったので、「水酸化ナトリウム」などの用語が通じないときがありました。どのように説明すればうまく通じるのかを考えながら説明しました。この経験を通して、相手に何かを詳しく説明するときのポイントや、作業中に子供たちが飽きないようにするためのコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。次回のFSSでは今回学んだことを生かしたいです。

高校3年サイエンスコミュニケーター活動

高3SSHクラスでは、12月～1月の特別活動期間にサイエンスコミュニケーター活動を実施しました。各グループでテーマを決めて科学の体験型授業の企画・準備を進め、1月20日に中等部1年生、28日に中等部2年生にその成果を披露しました。

各班のテーマ:「界面活性剤」「雲」「光の三原色」「つかめる水」「色と化学反応」「ダイラタンシー現象」



台風の発生の仕組み



化学反応とは



界面活性剤の効果

3年10組 磯村 薫

初めのうちはなかなかチーム内での連携が取れず、問題点ばかりが見えていましたが、先生方にアドバイスをいただき、視野が狭くなっていたことに気がつきました。グループワークにおいて一番大事なのは、視野の持ち方だと実感しました。自分の見ている視点だけでなく、周りの人からの意見や、グループの仲間から見たらどのように感じているかを考えたら、かなり自分の頭の中がすっきりして、その後のグループワークもスムーズに進めることができました。この経験を生かして今後の活動でも視野を広く持っていたいです。

学年だより 中1

楽しみだったオリエンテーション合宿

中等部1学年は、12月21日～23日の2泊3日で東海大学の創立の地である、「静岡県の三保」に行ってきました。東海大学の建学の精神、たくさんの自然に触れ、友達との絆も深まり、とても思い出に残る合宿となりました。

愛と正義

A組 伊藤 大輝

僕はオリエンテーション合宿で三保の松原を歩きながら、東海大学創立者の松前重義先生の「人生いかに生きるべきか」という言葉について考えていました。僕には、その言葉の答えはすぐには出てきませんでした。4月に入学してから、「建学の精神」や松前先生の言葉を聞いてはきましたが、正直よくわかっていませんでした。しかし今回の2泊3日の合宿で、東海大学の創立の地を見て回り、校旗の意味を知ることができました。僕は校旗の「愛と正義」を大切にしたいです。合宿の共同生活で、部屋にいる友達とルールを守って楽しく過ごすためには、東海大学の水族館を班で回るとき、どうやったら協力して行動できるか、それには「愛と正義」が大切だと思いました。だから僕は「愛と正義」という言葉を大切に、人生を生きていきたいです。

自分の手で

B組 添田 淳矢

僕はこのオリエンテーション合宿で「建学の精神」や「青少年の家のルール」に触れて、自分の生活を見直すきっかけをつかんだと感じました。合宿期間中は、時間厳守や整理整頓などの注意事項をしっかりと守り、責任ある行動をとり、大きな声で挨拶をし、仲間を思いやることができました。また、布団のたたみ方や、大浴場では脱衣所に戻る前に浴室で体を拭くなど、私生活でのことも学べたので、今後の生活に生かしたいと思います。普段は家に帰ったらゴロゴロして、家事はお母さんに任せていたけれど、この合宿で「自分たちで行動すること」の楽しさと難しさを学ぶことができました。この経験を忘れずに、自分の生活を見直していきたいです。



1,000段以上の長い階段! (久能山東照宮)



駿河湾の生態系を観察 (東海大学海洋科学博物館)



駿河竹千筋細工作りに挑戦 (駿府の工房 匠宿)



恐竜の化石などを見学 (東海大学自然史博物館)



ロープウェイで久能山東照宮へ (日本平ロープウェイ)



バックには雄大な富士山が! (三保の松原)

学年だより 中2

今年の日標

年が明け、中等部最高学年になるまで、残り2カ月となりました。そこで、2年生として過ごす、残りの時間での今年の日標を立ててもらったので、紹介したいと思います。

A組 高山 悠和

今年の日勉強面での日標は、授業の内容などをしっかりと復習し、テストで良い点を取り、今までのテストよりも順位を上げることです。生活面での日標は、自分以外の人にも気を使い、頼られるようになることです。部活動面での日標は、部長として部員を引っ張り、技術面でもミスをなくしていくということです。最後に、残りの2年生全体の日標は、このクラスで過ごす残り少ない時間で思いっきり楽しむこと、また3年生になるという自覚を持つことを大切にしていきたいです。

B組 志賀 美咲

学校生活では、普段あまり話さない友達とも仲良くできるようにになりたいです。そのために、人との接し方を考え、自分から行動に移していきたいです。勉強面では、成績を上げたいです。そのために授業中の態度を改め、予習・復習をしっかりと行っていきます。部活動では大会で金賞を取ることです。そのために、常に金賞を取るという意識を持ちつつ、部員との仲を深め、音楽を楽しみながら、メリハリのある部活動を作っていきます。

A組 名取 輝

今年の日勉強面での日標は、中等部2年生最後の期末試験の主要科目をすべて80点以上とり、中等部3年生で良いスタートを切れるように頑張ることです。生活面での日標は、誰かに言われる前に自分で考え、自ら行動できるようにすることです。外部のサッカーの日標は、Aチーム所属を維持し、日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会で良い成績を残すこと、また東京リーグや高円宮杯という大会に出場し、良い成績を残すことです。そして、サッカーの練習がない日も、近くの公園などで自主練習をし、高校生ではサッカー部のAチームになれるように、今から努力をしていきたいです。

B組 田 祐介

学校生活での日標は、中等部最高学年としてふさわしい振る舞いをするということです。もうすぐ「中等部最高学年」ということを自覚して、行動できるようにしたいです。楽しむときは楽しみ、やるときはやるというメリハリをしっかりとつけて行動します。また勉強面の日標は、予習を行い、一回の授業を自分の力でより良いものにしていくことです。部活動面の日標は、剣道部の部長として責任を持ち、判断・指示ができるようになること、また後輩から尊敬されるような先輩になることです。さまざまな面で成長できるように頑張りたいです。

学年だより 中3

いよいよ卒業を迎えます。この3年間を振り返ってみました。コロナ禍でできない行事もたくさんありましたが、その中でできることを全力で楽しみ、仲間と共に成長した皆さんを誇りに思います。中等部で過ごした3年間の大切な思い出を忘れず、素敵な高校生になってください。

中等部3年間で一番の思い出は？



☆オリエンテーション合宿☆〈1年生〉

- 初めての宿泊行事だったから、お互いのことを知ることができた。
- まだみんなのことがわからない中、初めての合宿で仲良くなるきっかけになった。

☆剛健旅行☆〈1年生〉

- 長い道のりを歩き切る自信がなかったけど、友達と励まし合いながら笑ってゴールできたから。
- 疲れ果てた状態で食べた豚汁とおにぎりが美味しかった。
- 雨が降っていてなかなか思うように進まないこともあったが、友達がいたことで最後まで諦めずに歩き切ることができた。この行事を通して、友達といることの大切さを改めて感じることができた。

☆体育祭☆〈3年生〉

- 学年を問わず応援し、全員が楽しむことができたから。
- 一人ひとりが一生懸命頑張って優勝できたから。
- 行事が少ないときこそ全力で取り組めたから。
- 普段関わらない人と関わったり、いろんな人と協力することができたから。

☆合唱祭☆〈3年生〉

- クラスとして最後の行事で個人でも一番行事と向き合ったから。
- 朝練や放課後練習をして金賞が取れたから。
- みんなでまとまれた瞬間だったから。

☆部活動☆

- 楽しいことも苦しいことも3年間続けてこられた。



中等部に入学してよかったことは？

中等部3年間で一番成長できたことは？

- 人との関わり方。
- 周りを見て行動ができるようになった。
- 挨拶を大きな声でしっかりできるようになった。
- 新しく挑戦する気持ちや考え方が変わった。
- 前向きに物事を考えられるようになった。

- 部活動で仲間ができた。
- 自分の夢を決めることができた。
- さまざまな地域に住んでいる人たちが集まって、いろんな意見や考え方を共有できた。
- 普段なら行かないようなところに校外学習で行き、さまざまな思い出ができた。
- たくさんの素晴らしい友達ができた。
(大勢の人がこのことを記入していました。)

学年だより 高1

高校1学年では、昨年12月18日に各クラス代表者による「現代文明論発表会」、今年1月15日に「模範ディベート」が行われました。どちらも代表生徒がよく準備をし、素晴らしい発表となりました。参加者の感想をご覧ください。

現代文明論発表会

- 最優秀賞 「日本の高齢化・介護問題」 河原田 真未
- 優秀賞 「ゲノム編集」 巻田 拓輝 / 上曾 昇之助 / 金井 智人
- 生徒審査員特別賞 「フェイクニュースの事実」 鈴木 爽太郎

★9組 河原田 真未★

私は、今回の発表で高齢化と介護について調べ、発表しました。日本は少子高齢化が問題になっていて、それに伴い介護の問題もあるということを知って、調べようと思いました。学年発表会では、クラス発表では感じなかった緊張を感じ、自分が思うようになかったと感じています。しかし、このような多くの人の前で発表できたことは、とても光栄でした。また、最優秀賞をいただけることを知ったときは、とても驚きました。自分の中では反省点の多い発表だと思っていたので、とても嬉しかったです。今回の発表で私はいろいろなことを学ぶことができました。今回学んだことを、今後に生かしていきたいです。

★4組 巻田 拓輝★

個人的には、今でも優秀賞をもらった実感がなくらい衝撃を受けました。それに、高校に入って初めて好成绩をもらった出来事で、しかも仲間とチームでもらえた評価だったので、より嬉しかったです。発表の本番はとても緊張しました。比較的難解な内容と長めの文章量、そして1学年全員の前というすごい状況だったので、私もメンバーも今までで最も緊張したと思います。また私は他のグループの発表を聞いてとても興味深かったので、スライドと一緒に見られたら良かったです。とても良い経験ができたと思います。

★2組 鈴木 爽太郎★

今回、とても貴重な体験を皆さんの前でさせていただき、ありがとうございました。発表により、私はいつもとは格段に違う緊張感と、皆さんに聞いていただける高揚した気分を感じることができました。また学年発表会、クラス発表会ではさまざまな現代文明の諸問題を知ることができて、とても良い場となりました。最後になりますが、私の発表やスライドにアドバイスをいただいた担任の先生、準備や運営をいただいた先生方、生徒の皆さん、ありがとうございました。



模範ディベート

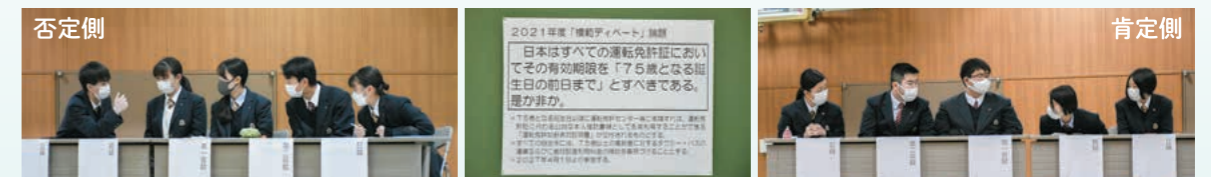
「日本はすべての運転免許証においてその有効期限を「75歳となる誕生日の前日まで」とすべきである。是か非か。」という論題に対してディベートが行われ、結果は否定側の勝利となりましたが、どちらのチームもしっかりと準備、打ち合わせをしていたので、僅差での結果となりました。

★否定側 9組 工藤 紗耶★

私は、否定側の記録係として今回の模範ディベートに参加しました。立論や質疑をする人と比べて、あまり目立たない役割でしたが、肯定側の言った意見をわかりやすくまとめたり、発表する意見を提案したりなど、記録係としての役割をしっかりと果たすことができたと思います。難しい議題ではあったのですが、グループで何度も集まり、打ち合わせをして本番を迎えることができたのでよかったと思います。今度はクラスでディベートを行うので、今回の経験を生かしていきたいです。

★肯定側 7組 柏 知里★

今回、模範ディベートに参加して、限られた時間の中で自分たちの主張を論理的に、客観視する大切さについて感じました。ただ自分たちの感想だけを言っているだけでは信憑性がなく、相手側の発言を事前に考え、自分たちに矛盾する点がないかを調べるが大変でした。私は記録係として直接発言する機会はありませんでしたが、相手側の発言を簡潔にまとめ上げ、矛盾している点を挙げると、ディベートがスムーズに進行するように心がけました。



学年だより 高2

日本語ディベート大会

2022年1月31日(月)、放送により各教室において「日本はレジ袋を無料に戻すべきである。是か非か。」という議題で、日本語ディベート大会が開催されました。結果は、否定側が優勝しました。参加した生徒の大会への意気込みを紹介します。

1組 室尾 綾乃

ディベートをみんなの前で行うのは初めてのことで、とても緊張しています。普段は、人前で自分の意見をはっきり述べるという機会はなかなかありません。当日は貴重な経験をさせてもらえるという心持ちで、発表していきたいと思います。

2組 中尾 隼哉

私は、否定側の第二反駁なので、「レジ袋を無料に戻さない方がいい」の利点を述べたいです。そして相手の意見に対しては、相手側を納得させるような反論ができるように頑張りたいです。

3組 井出 亜梨沙

私は今回2回目のディベートに参加します。ディベートでは、聞く力、話す力のほか相手の意見を理解するのが大切なので、この活動を通して3つの力を高めていき、良い結果を残したいです。

4組 宮川 拓己

私は、ディベートに参加して、一つの議題に対しても、多くの意見があることに改めて気がつきました。このような物事の見方が重要になってくるので、この機会を生かし、しっかりと技能を学んでいこうと思います。

5組 佐藤 寛之

昨年度に初めてディベートというものを経験し、面白さや難しさを学びました。その時の経験を生かし、自分たちのチームを勝利に導けるよう精いっぱい頑張ります。

6組 山中 隼斗

ディベートをやることは、相手の言葉をよく聞いて、瞬時に自分の考えを出すことの難しさを学ぶということだと思います。代表となったことで、普段できない経験ができると思うので、この経験を自分の今後に少しでも生かしていけたらいいなと思います。

7組 古川 拓海

最初は知らない間にクラスの代表になっていたため、気が進みませんでした。しかし、発表のための作業や練習を続ける間に仲間ができ、この仲間と一緒にディベートを成し遂げたいと思うようになりました。当日は、精いっぱい頑張ります。

8組 青木 凌太

人生で初めてみんなの前でディベートをやるので緊張しますが、普段できない体験なので、頑張りたいと思います。またメンバーとしっかりとコミュニケーションをとってやりたいです。

9組 中川 湧太

意見を考えることがとても良い経験になりました。自分は肯定側なので、否定側の人々が納得する意見を言いたいです。人前でディベートをするのは初めてですが、ぜひ頑張りたいです。

10組 前田 陽樹

ディベートは直前まで題材を知らされていないため、発表された後、急いでその議題におけるメリットやデメリットについて考えるのが大変ですが、今回は議題を知っているため、十分な用意をして臨みたいと思います。



学年だより 高3

3年間の思い出

いよいよ卒業を目前に控えた今、3年を振り返ってみました。コメントと写真で「あの時」を思い出してみましょう!

湘南キャンパス見学



【日常】何気ない、授業がとても充実していた。／コロナ前でたくさんの行事があり、マスクもなしで、1年生のクラスでは「青春」できたと思う。／当たり前の日常が楽しく、友達と常に笑っていた。

剛健旅行



【剛健旅行】最初で最後の剛健旅行、最後までやり抜いて達成感があった。／最初の方は楽しく順調だったが、中盤からだんだんキツくなり、ゴールまでがすごくつらかったが、ゴールした後のおにぎりとお汁は格別でした。

体育祭



【体育祭】部・同好会対抗リレーで1位に!先輩たちの前で1位になれて嬉しかった。／みんなの「勝ちたい」という気持ちが一つになって仲が深まった。

建学祭



【建学祭】1年生の時、3年の先輩たちが作ったご飯(模擬店)がおいしかった!／最後の建学祭はコロナ禍で制限はあったけれど、クラス一丸となり協力して楽しくでき、一番やりがいを感じられた。

部活動



【部活動】交友関係が広がり、協力、助け合うことを学べた。／全員で一つの目標を達成するために毎日練習を頑張りましたが、大会はなくなってしまい悔しい思いをしました。でも、みんなで練習できた毎日は最高に楽しかったです。／最後の大会では全力を出すことができましたと思いますが、勝利には結びつかず…時が経つにつれて、今は悔しさから思い出に変わりました。

お知らせ

第73回(高校)・第13回(中等部) 卒業証書授与式



- 時間: 3月6日(日)10時開式
- 場所: 本校アリーナ(地下3階)

— 高校3年生 高輪会(同窓会)入会式 3月5日(土) —

東海大学付属高輪台高等学校の同窓生の組織として『高輪会』を運営しています。各学年の卒業生より高輪会役員を選出し、その中から執行役員を選出して活動しています。本校の教育活動及び諸行事に協力をするはもちろん、東海大学傘下の高等学校とも情報交換し、親密なつながりを持って同窓生の支援を行っています。

行事予定

※予定が変更になる場合があります。

March 3月

April 4月

- 1日(火) 後期期末試験(中1・2:~3日、高1・2:~4日)
- 5日(土) 3年生を送る会(1時限目カット)
高輪会入会式(高3)
新入生制服採寸・教材販売(高校延納)
- 6日(日) 第73回(高校)・第13回(中等部)卒業証書授与式
- 7日(月) 振替休日(3/6分)
- 8日(火) 生徒自宅学習日
- 9日(水) 答案返却 教科書販売(新高3)
- 10日(木) 生徒自宅学習日(~11日)
- 12日(土) 特別授業(~16日) オープンキャンパス(高2)
- 14日(月) イングリッシュ・キャンプ(中2)
- 16日(水) Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 17日(木) 特別授業(5・6限カット 3/5分)
- 18日(金) 生徒自宅学習日
- 19日(土) 修了式・離任式 教科書販売(新高2)
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 新入生クラス分け試験(高校)
- 25日(金) 春期講習(中1・2:~28日)

- 2日(土) 新入生登校日
- 3日(日) 第79回(高校)・第16回(中等部)入学式
- 4日(月) 振替休日(4/3分)
- 5日(火) 始業式・対面式・就任式・LHR(5・6限カット 4/2分)
- 6日(水) オリエンテーション(高1、中1) 特別授業(高2)
通常授業開始(中2) 健康診断・写真撮影(高3、中3)
- 7日(木) オリエンテーション(高1) 特別授業(高3)
通常授業開始(中1・3) 健康診断・写真撮影(高2、中2)
- 8日(金) 健康診断・写真撮影(高1、中1) 特別授業(高2・3)
- 9日(土) 通常授業開始(高1) 校長による現代文明論(高1)
特別授業(高2・3)
- 11日(月) 学園基礎学力定着度試験(高校)
外部実力試験(中等部)
- 12日(火) 通常授業開始(高2・3) 校医相談日①
- 16日(土) 短縮授業 保護者会①(高2・3、中2・3)
- 18日(月) 学年集会①(高3)
- 22日(金) 新入生仮入部期間終了
- 23日(土) 短縮授業 保護者会①(高1、中1)
- 25日(月) 全校集会(中等部)
- 29日(金) 昭和の日

編集後記

中等部3年生、高校3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思い返せば、中高3年生は2年前に始まった新型コロナウイルスパンデミックの影響を大きく受けた学年でした。研修旅行をはじめ、学校行事や部活動の大会など、楽しみにしていた多くのことが中止となり、大変悔しい思いをしたことでしょう。次のステージでは、興味を持っていることに思いっきり挑戦し、自分の夢や目標の達成に邁進してください。皆さんのご活躍を心から期待しています。(う)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>